

## 貸 借 対 照 表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現 金	35,842	51,963	△ 16,121
預 金	70,668,596	66,313,044	4,355,552
未 収 収 益	38,920,273	29,360,993	9,559,280
仮 払 経 過 利 息	0	72,355	△ 72,355
流動資産合計	109,624,711	95,798,355	13,826,356
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	6,538,205,450	6,440,579,800	97,625,650
預 金	213,751,833	313,204,789	△ 99,452,956
基本財産合計	6,751,957,283	6,753,784,589	△ 1,827,306
(2)その他固定資産			
什 器 備 品	215,036	282,942	△ 67,906
差入敷金保証金	10,368,800	10,368,800	0
その他固定資産合計	10,583,836	10,651,742	△ 67,906
固定資産合計	6,762,541,119	6,764,436,331	△ 1,895,212
資 産 合 計	6,872,165,830	6,860,234,686	11,931,144
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未 払 金	1,375,903	501,165	874,738
預 り 金	2,967	3,689	△ 722
賞 与 引 当 金	1,162,666	1,155,332	7,334
流動負債合計	2,541,536	1,660,186	881,350
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,543,000	1,479,000	64,000
固定負債合計	1,543,000	1,479,000	
負債合計	4,084,536	3,139,186	945,350
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	6,751,957,283	6,753,784,589	△ 1,827,306
(うち基本財産への充当額)	(6,751,957,283)	(6,753,784,589)	(△1,827,306)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	116,124,011	103,310,911	12,813,100
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	6,868,081,294	6,857,095,500	10,985,794
負債及び正味財産合計	6,872,165,830	6,860,234,686	11,931,144

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

- (1) 会計基準  
「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法  
保有する有価証券は「満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券」であり、決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産………定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準について  
賞与引当金………職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。  
退職給付引当金………期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理について  
消費税等の会計処理は、税込方式による。
- (6) 貸借対照表内訳表について  
当財団は、公益目的事業以外の事業を行っていないため、貸借対照表内訳表は作成していない。

## 2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	6,440,579,800	97,625,650	0	6,538,205,450
預 金	313,204,789	0	99,452,956	213,751,833
小 計	6,753,784,589	97,625,650	99,452,956	6,751,957,283
合 計	6,753,784,589	97,625,650	99,452,956	6,751,957,283

## 3. 基本資産の財源等の内訳

基本資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち、指定正味財産からの充当額)	(うち、一般正味財産からの充当額)	(うち、負債に対応する金額)
基本財産				
投資有価証券	6,538,205,450	(6,538,205,450)	(0)	—
預 金	213,751,833	(213,751,833)	(0)	—
小 計	6,751,957,283	(6,751,957,283)	(0)	—
合 計	6,751,957,283	(6,751,957,283)	(0)	—

## 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	339,530	124,494	215,036
合 計	339,530	124,494	215,036

## 5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益	127,848,290
合 計	127,848,290

## 6. 金融商品の状況に関する事項

- (1) 金融商品に対する取組方針  
資産運用に当たっての基本原則として、①元本償還の確実性を重視すること、②適切な流動性を確保すること、③収益の極大化を図ると共に効率性を追求すること、また、④価格変動リスクの比較的高いリスク資産への投資については、運用委員会での審議を経たうえで運用を行なうこととしている。
- (2) 金融商品の内容及びそのリスク  
主に、預金、国内債券及び国内株式によって、基本財産の運用を行なっている。主なリスクとしては、発行体の信用リスク及び市場リスク(金利変動リスク、価格変動リスク)が存在している。
- (3) 金融商品に係るリスク管理体制  
価格変動リスクが比較的高い資産については、半年ごとに、①投資スタンス、②投資対象候補、③リスク管理方法、④購入時の上限金額(個別銘柄毎及び購入総額)を定める運用計画を策定し、運用委員会での審議を経たうえで運用を実行する体制としている。また、資産運用管理規程及びその下部規定である資産運用管理運営要領に基づき、信用格付け、時価等を月次でモニタリングすることとしている。

# 附属明細書

## 1. 基本財産の明細

基本財産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略する。

## 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,155,332	1,162,666	1,155,332	0	1,162,666
退職給付引当金	1,479,000	64,000	0	0	1,543,000